



# 会報

DISTRICT 253

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA



田 植

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール  
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 弥 一 郎  
幹 事 中 江 亮

### Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 906 号

1977. 5. 10 (火) (晴)

No.40

#### 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (それでこそロータリー)
3. ゲスト・ビジターの紹介
4. 会員及び奥様お誕生祝
5. 年間皆出席表彰
6. 会 長 報 告
7. 幹 事 報 告
8. ゲストスピーチ～西郷南洲翁遺訓について～長谷川信夫先生
9. 委員会報告
  - ① 鹿児島便り～安藤定助君  
外西寿彦先生 5月24日 来訪のお知らせ
  - ② 台中港区R.C来訪歓迎準備の概況について  
スケジュール並びに歓迎準備実行委員を発表～上野三郎実行委員長
10. 出 席 報 告

## ■ゲスト・ビジターの紹介

瀬川清君—酒田R・C

菅原年雄君、松田善三郎君、林権之助君—鶴岡西R・C

今野義介君、佐藤五右工門君、本間毅君、小山富雄君、今野金一君、本間豊太郎君、佐々木暢美君、和泉祐作君、佐藤重夫君、阿部隆君—温海R・C

## ■会員及び奥様お誕生祝い

### <会員誕生>

阿部公一君、半田浩君、石倉健司君、市川輝雄君、板垣広志君、三浦悌三君、迎田稔君、諸橋政積君、中野重次郎君、佐藤友吉君

### <奥様誕生>

石黒常様、板垣喜美子様(俊次)、黒谷貞子様、西海幸子様、上野和子様、高橋良子様(耕二)  
山口マサキ様

## ■年間皆出席表彰

### <年間皆出席>

3年間皆出席 風間慶三君

2年間皆出席 山口篤之助君

### <4月125%出席> 6名

阿部(襄)君、早坂(源)君、小池君、中江君、佐藤(順)君、上野君

### <4月100%出席> 51名

皆川君、安藤君、張君、飯白君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、石川君、市川君、板垣(俊)君、玉城君、上林君、風間君、黒谷君、高橋(耕)君、石倉君、小松君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、三浦君、森田君、角田君、中野(重)君、中野(清)君、小野寺君、西海君、齋藤(得)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、鷺田君、笹原君、新穂君、横山君、内山君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、丹下君、迎田君、手塚君、富樫君、菅原君、山口君、藪田君、吉野君、中村君、金沢君

## ■会長報告

- ① 先般来訪されたR・I第735地区G・S・Eの受入れにつきましては会員皆さんの心からの温い歓迎を受けまして無事当地区の全研修日程を終了致しました。殊に早坂バストガバナ一、高橋国際奉仕委員長さん、市川君及びS・A・Aの皆さんには大変御尽力を戴きましたことを厚く感謝申し上げます。合同例会に於ける団員の所感にも御座いました様に、これ迄の訪問クラブの内鶴岡が一番印象が深かったと喜んで出発されました。
- ② 4月30日に当クラブ事務局山下さんのお父さんが亡くなられましたのでクラブより御香奠を御送りし、御悔みを申し上げます。謹んで御冥福を御祈り申し上げます。尚、過分の御香奠返しを頂戴致しました。
- ③ 己に御承知の通り、来る21日には当クラブの姉妹クラブ台中港区R・Cの来訪が御座います。従いまして17日のクラブ例会は21日に繰り下げる事に致します。尚、例会時間も午後5時に変更致します。
- ④ 本日の定例理事会の決定事項について申し上げます。台中港区R・C歓迎について明細なる企画を立てられて居りますが、その予算についてクラブより20万円の補助をすることに決定しました。

## ■ 幹事報告

- 会報到着～東京、塩釜 R・C
- 例会変更～新庄 R・C～5月13日の時間 A・M 11:00 於 中部牧場  
鶴岡 R・C～5月17日を5月21日 P・M 5:00
- G・S・E 負担金お一人1,500円を納入願います。
- 西郷南洲遺訓の本～長谷川信夫先生より御恵贈されました。
- 次期ガバナー佐藤 G・N 病気のため加藤武久 (1978～1979年度) G・N 繰上げ就任承諾の回答を出した。

## ■ ゲストスピーチ

### 西郷南洲翁遺訓について

庄内南洲会南洲神社常任理事 長谷川信夫氏

庄内と西郷先生との関係を端的に申せば南洲翁遺訓の刊行にあると思います。明治22年1月に遺訓が庄内の人々によって刊行されたと云う事は極めて素晴らしい事だと思えます。これは南洲先生と菅先生を初めとする旧士族の方達が道義の交わり、心の交わりを深くされまして明治10年に西郷先生と共に死ぬべきさだめにあった庄内が、先生の本当の精神と人物を正しく後世に伝える為に生き残って南洲翁遺訓を刊行した事を考えると文字通り命に替えての一大事業であったと思われまます。

西郷先生はその当時明治の元勳でもあったし、又参議として総理大臣的立場で国政にもあたられました。坂本竜馬が、西郷は不思議な人だ、大きく叩けば大きく響くし、小さく叩けば小さく響くと勝海舟に報告しているが、庄内の人達が人間としての生き方、道義一筋の道を先生に訴え、求められた事は非常に尊いものと思います。日本に唯一残っている先生の遺訓が庄内の人達に依って作られた事は非常に感銘深く、これに依って西郷先生の真値を後世に残すことになったと云っても過言でないと思います。

明治23年1月に遺訓が出来てその4月に庄内の6人の士族の方々が遺訓を背負って歩いて全国に配付されて先生の真の精神と人物を伝えた事について私は深く感動しています。当時西郷先生は賊名をこらむっていて本当に先生を理解していた人達は少なかったので、南洲翁遺訓に依って非常に啓蒙されたと思います。

私と南洲翁遺訓との出会いは私が鶴岡中学2年生の時、公会堂で黒崎先生の講演会がありました。黒崎先生が開口一番申された事は、諸君私は庄内に生れた事を何よりのよることだと思います。それはほかでもない南洲翁遺訓がこの鶴岡から刊行された事です。私はこの遺訓を終生の心の支えとして学んで参りました。その中で、命もいらす名もいらす官位も金もいらすものは仕末に困るものである。その仕末に困るものでなければ共に国家を論ずるに足らざるなりと云う言葉がある。

遺訓の内でもこの一節に強く感動していますし私の生涯の心の支えにしています。若し諸君も機会があったらこの南洲遺訓を勉強して下さい。こう云う話を聞かされました。私は菅先生のお孫さんの家に下宿して居ましたので今日の事を話して南洲遺訓を読みたいと云ったら早速和本の遺訓を貸して下さいました。これが私と南洲遺訓の初めての出会いです。

中学を卒業して師範学校に行くときにこの本を御祝いにいただき、それ以来40年余私はこの本を心の支えとして来ましたので、多くの人々からも読んでいただきたいと思ひ又、先程申し上げた様に、庄内士族の人達が刊行直後に全国に紹介した様に先生の真値を一人でも多くの人に知ってもらいたいと云う念願から自分もささやか乍らやりたいと思ひましてやったのが今から8年前、岩波文庫の南洲翁遺訓を自分のポケットマネーで千部買ったり、2千部買ったりして現在1万3千冊を買ひまして皆さん方に機会ある毎に差し上げる事を自分の生涯の仕事としてやっています。

今から13年前になります。本屋を失敗し大平工業に勤務したのですが、前に本屋をして

いた当時の青年達が私を囲んで南洲翁遺訓の勉強会をやるとう云う事になり毎月24日に定例日として13年間、今日迄真面目な勉強を続けています。今から3年前遺訓の縮刷判を刊行しました。出来るだけ多くの方から読んでいただく為に鹿児島、奄美大島、東京、大阪の人達に売ってもらいました。

この遺訓の勉強会は初めは4人でしたが現在12人です。この人達が6年前に西郷先生と菅先生をお祭りしようとう云う事で毎年9月24日にお祭りして来ましたが、4年前には鹿児島と奄美大島の遺跡をたずねました。こう云う事を蓄積する間に折角おまつりするなら南洲神社を造ろう、又勉強する為に南洲会館を建てようとう云う事になり、初めの計画は極めてささやかなものでしたが、だんだん計画が充実して一昨年9月財団法人荘内南洲会を作りまして早速募金にかかり現在1,453名の方から御支援をいただき目標の5,000万円迄には未だ少し足りませんが、大体の見通しがついたので100年祭に間に合せる為に工事に着工。去年6月南洲神社、9月には会館が竣工しましたのでこれを機会に私共は西郷先生の教えを更に勉強し、一人でも多くの方々からも先生の偉大さを知って貰う為に刊行事業等の布及に努力し、郷土社会のお役に少しでも貢献したいと念願しています。

先生の偉大さは我々の小さな尺度では計る事が出来ませんが何が正しいか、正しくないかの判断の素晴らしさと敬天愛人の精神です。この西郷先生の精神を顕揚する事が日本精神に帰える事であり、ささやかでも東北の一角からこの精神を復興する事に依ってこれからの日本の何等かの力になりたいと思います。どうぞ皆様からも私達の願いを御理解いただいて御支援をいただければ幸いです。

## ■委員会報告

### <鹿児島西R・C外西君来訪について>

兄弟クラブ鹿児島R・Cの外西寿彦君(五つ子誕生のチーフ医師)より次のような御来訪の便りがありました。

謹啓 先般御来鷲の折は十分なご接待もできませず誠に失礼申し上げました。早速御礼状を戴き厚く御礼申し上げます。

扱て小生5月20日より開催される学会のため秋田にまいりますので、その折是非御地を尋ねたいと存じ次の様なプランを作りましたので御迷惑でしょうが何卒よろしくお願い申し上げます。

5月24日(火)秋田→鶴岡(12:03着)例会出席後市内見学

同夜21:35発 特急日本海1号→大防へ

先ずは端書にて失礼ながらお願いまで、皆様によろしくお伝え下さい 敬 具  
就きましては歓迎その他について新睦委員や先般の表敬訪問団の方々と協議を進めたいと思います。

## ■出席報告

本出 日 の 席	会 員 数	70名	欠 席 者	阿部(襄)君、張君、早坂(源)君、石井君、五十嵐(三)君、玉城君、風間君、黒谷君、小池君、石倉君、嶺岸君、三浦君、角田君、板垣(広)君、佐藤(伊)君、佐藤(衛)君、笹原君、手塚君、藪田君
	出 席 数	51名		
	出 席 率	72.86%		
前出 回 の 席	前回出席率	82.86%	メ ア ッ ク ブ	笹原君一仙台R・C 黒谷君一酒田R・C 横山君、菅原(辰)君、中野(清)君、板垣(俊)君、高橋(耕)君、佐藤(昇)君、佐藤(友)君、新穂君一鶴岡西R・C
	修正出席数	68名		
	確定出席率	97.14%		